



右の頬にプクッと膨れたものができ、大きくなったのでレーザーで取ってもらいました。他にも顔中に膨れたものが100ぐらいあります。最近首にもたくさんできてきました。イボの薬を塗っても良くなりません。アドバイスをお願いします。(50歳、女性)

顔や首のできもの

顔や首に、触るとポコポコしているできものが多数できていると、頻度の多いものとしては脂漏性角化症や軟性線維腫の可能性が考えられます。

脂漏性角化症は中年期以降に発生することが多く、体中どこにでも発生しますが、特

かく小さな突起のような形状で、首や脇の下など摩擦が起きやすい部位に多く見られます。液体窒素による凍結療法、はさみなどで切除や炭酸ガスレーザーでの治療などがあります。

どちらも良性で健康への害はありませんが、整容面での

激なども影響している可能性

があります。化粧品が直接の原因になることはまれですが、過度な摩擦や刺激が症状の悪化を引き起こすことは考えられます。そのため、低刺激性のスキンケア製品を選び、洗顔やクレンジングの際は強くこすらないことが大切

ることが大切です。

また、他疾患との関連がある場合もあります。このできものも早期発見や治療が重要ですので、気になれば放置せず専門医に相談してください。(兵庫形成外科医会、上田美鈴 | 神戸大病院・県立がんセンター)

急激に大きくなれば受診を

に紫外線の影響を受けやすい顔面が多いです。茶色や黒色の盛り上がった病変として現れやすく、ザラザラした感触

悩みや掻痒感、ひっかかりなどの不快感があることがあります。

です。顔面や首にできるできものは多岐にわたりますが、良性的であることが多いです。しかし、短期間で急激に大きくなるもの、色や形が不規則なもの、出血や潰瘍を伴うものは悪性腫瘍の可能性もあるため、早急に医療機関を受診す

があります。治療手段として炭酸ガスレーザーやメスを用いた剥削術、液体窒素による冷凍凝固があります。

一方、軟性線維腫は、柔ら

これらのできものの増加にはいくつかの要因が考えられます。年齢や遺伝的な体質は大きな要因ですが、紫外線ダメージ、衣服やアクセサリーとの摩擦、スキンケア時の刺

め、早急に医療機関を受診す